

国語科指導のポイント 〔中学校編〕

県南教育事務所

学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善のポイント

【指導計画】

- 指導事項の重点化(何を身につけさせるのか。)
- 言語活動の位置づけ(最適な言語活動は何か。)

【指導方法】

- 一連の学習過程を明確化(単元の流れを意識化)する。
例 課題設定や取材 → 構成 → 記述 → 推敲 → 交流
- 次の学びにつながる言語活動の位置づけ(言語活動の楽しさ、有効性、系統性の重視)
- 思考力・判断力・表現力につながる言語活動(活用する力を育てる言語活動になっているか。)

【評価】

- 年間を見通した単元構想を踏まえた評価の工夫(「分かる」→「使える」へ)
- 言語活動を通した評価の工夫(評価資料の累積・活用を図っているか。)

話す・聞くことの指導

聞くことの指導

学年	単元の構成	言語活動例
中学1年	(練習) 情報を的確に聞き取る ・先生からの連絡 ・放送委員長からの連絡	○必要な情報を要点をおさえてメモを取る。 ・基本情報を正確に聞き取る ・キーワード、箇条書き、番号付け
中学2年	(練習) 要点を整理して聞き取る ・職場体験等の電話	○話の要点や順序を整理しながらメモを取る。 ・小見出し付け、番号付け ・図や矢印の活用 ○聞き取ったことをもとに説明する。
中学3年	(練習) 評価しながら聞く ・ペットについての討論会	○自分の意見と比較して評価しながら聞く。 ・発言者の意見を評価する。 ・自分の考えと比較してメモする。

※ 平成28年度版 光村図書より

話す・聞くことの指導

聞くことの指導

「聞く力」を育てる機会や場の提供

- ① 聞きがいのある話を提供し、聞くことが楽しいと実感させる。
- ② 話題に关心を持たせ、共通点や相違点を整理させる。
- ③ 自分の考えと比較させながら聞かせる。
- ④ 相手の話を受けて返すことを習慣化させ、その喜びを味わわせる。
- ⑤ 話を聞いたことで、新しい考えが開けていく知的な楽しさを実感させる。

自分の考えと照らし合わせ評価しながら聞く。
(本当にそうだろうか。こんな考え方もあるのでは…)
・聞き取りマップの活用

新しい考えを生み出しながら聞く。
(そうだ。いいこと思いついた。)
・話し合う活動に生かす。

情報を正しく整理して聞く。
(なるほど、そういうことか。)
・聞き取りメモの活用

話す・聞くことの指導

話すことの指導

学年	単元の構成	言語活動例
中学1年	<p>◆対話・紹介 「好きなもの」を紹介しよう</p> <p>◆報告 一年間の学びを振り返ろう</p>	<p>○スピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none">・スピーチメモを作つて紹介する。 <p>○ポスターセッションをする。</p> <ul style="list-style-type: none">・学んだ文章や作品の魅力をグループで1枚のポスターにして発表する。
中学2年	<p>◆説明・発表 魅力的な提案をしよう</p> <p>◆説明・発表 一年間の学びを振り返ろう</p>	<p>○プレゼンテーションをする。</p> <ul style="list-style-type: none">・材料を整理し進行案を作る。・工夫してプレゼンテーションをする。 <p>○国語学習の報告書をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">・資料や機器の効果的な活用
中学3年	<p>◆紹介(条件スピーチ) 社会との関わりを伝えよう</p> <p>◆説明・発表 三年間の歩みを振り返ろう</p>	<p>○相手や目的に応じたスピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none">・話題、相手、目的を考える。・内容と構成を工夫してスピーチする。 <p>○学びについて語り合う。</p> <ul style="list-style-type: none">・冊子にまとめ発表する。

※ 平成28年度版 光村図書より

話す・聞くことの指導

話すことの指導

独話(スピーチ)の指導

- ① 話題：1年…日常生活の中から 2・3年…社会生活の中から
- ② 報告・紹介：身近な事柄について取材して報告、紹介する。
- ④ 説明・発表：提示資料を工夫して提案(プレゼンテーション)する。
- ④ スピーチ：時間や場の条件に合わせて、自分の意見を主張(スピーチ)する。

- ・「全体と部分」「事実と意見」に気を付けて話を構成する。
- ・相手の反応を踏まえながら話す。
- ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、語句の選択、言葉遣いを適切にして話す。
- ・資料や機器などを効果的に活用して話す。
- ・反論や意見を予想して自分の考えをまとめて話す。
- ・自分の知識や経験を整理して考えをまとめて話す。
- ・五感を使った描写やオノマトペ(擬音語や擬声語)、比喩を入れる。

継続的な場の提供、
録音や録画

話す・聞くことの指導

話し合いの指導

学年	単元の構成	言語活動例
中学1年	(練習) 流れを踏まえて話し合う ◆話題や方向を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	○話題や方向をとらえて発言する。 ○グループ・ディスカッションをする。 ・ 4~6人のグループで話し合う。 ・ 全体に報告し全体で議論する。
中学2年	(練習) 相手の考えを踏まえて発言する ◆話し合って考え方を広げよう パネルディスカッションをする	○相手の立場や考えを踏まえ、尊重しながら発言する。 ○パネルディスカッションをする。 ・ パネリスト、司会、フロア等の役割を決めて討論する。
中学3年	(練習) 話し合いを効果的に進める ◆話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く	○他者の発言や話し合いの展開を捉えながら参加するための工夫を学ぶ。 ○社会への提案をまとめる。 ・ グループ会議を行う。 (ブレーンストーミング) ・ 全体会議で具体案を検討する。

対話・話し合いの指導

【グループ・ディスカッション】

- 4～6人のグループを作り、司会と書記を決めて話し合う。
- 「意見」「根拠」「よい点」「問題点」「解決策」など議論の内容を踏まえて発言する。
- 時間を決めて話し合い、意見をまとめて全体に報告する。
- 全体での議論や決定に一人一人の意見を反映させるために行う。

【パネルディスカッション】

- テーマについて異なる意見をもつパネリスト(提案者)が討論し、そこにフロア(聴衆)が加わって考えを広げていく話し合いの方法。
- パネリストは、自分の意見と根拠を端的に示す。
- 討論を振り返り、考えの広がりを確認する。

話し合いの
振り返り・評価

【ブレーンストーミング】

- アイディアを広げるための話し合い。
- 思いつきでも実現しにくいことでも自由にアイディアを提案し合う。
- 相手の案を否定しないのがポイント。

※ 討論のルールや形式、方法、司会や提案者の役割については小学校で指導している。これを踏まえて、討論の仕方や役割について習熟させていく。

書くことの指導

指導事項の明確化

※中学校指導要領解説「書くこと」系統表p111

課題設定
取材

構成

記述

推敲

交流

書くことに関わる言語活動例

- (1年) ア 芸術的な作品などについて、**鑑賞**したことを書く
イ 図表などを用いた**説明**や**記録**の文章を書く
ウ 行事等の**案内**や**報告**をする文章を書く

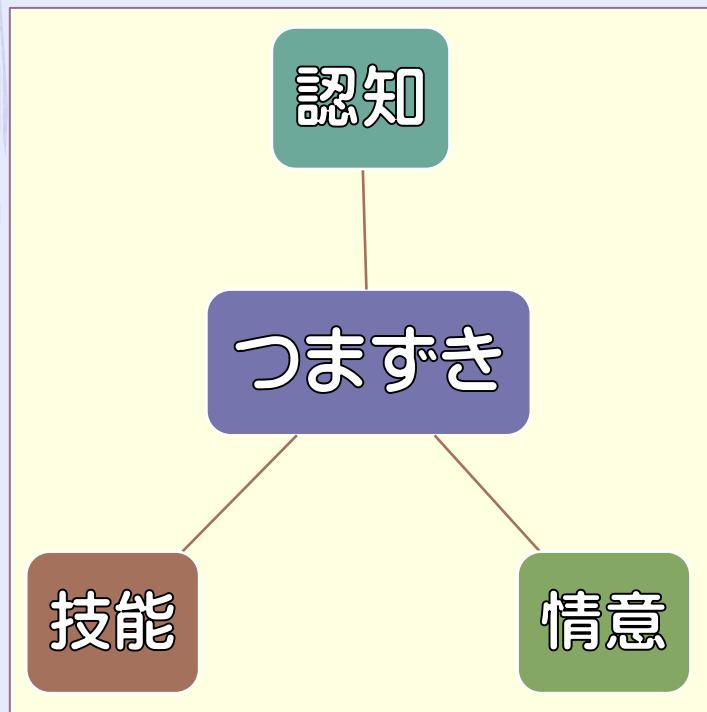
- (2年) ア 表現の仕方を工夫して、**詩歌**をつくったり**物語**などを書く
イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて**意見**を述べる文章を書く
ウ 社会生活に必要な**手紙**を書く

- (3年) ア 関心のある事柄について**批評**する文章を書く
イ 目的に応じて様々な文章を集め、工夫して**編集**する

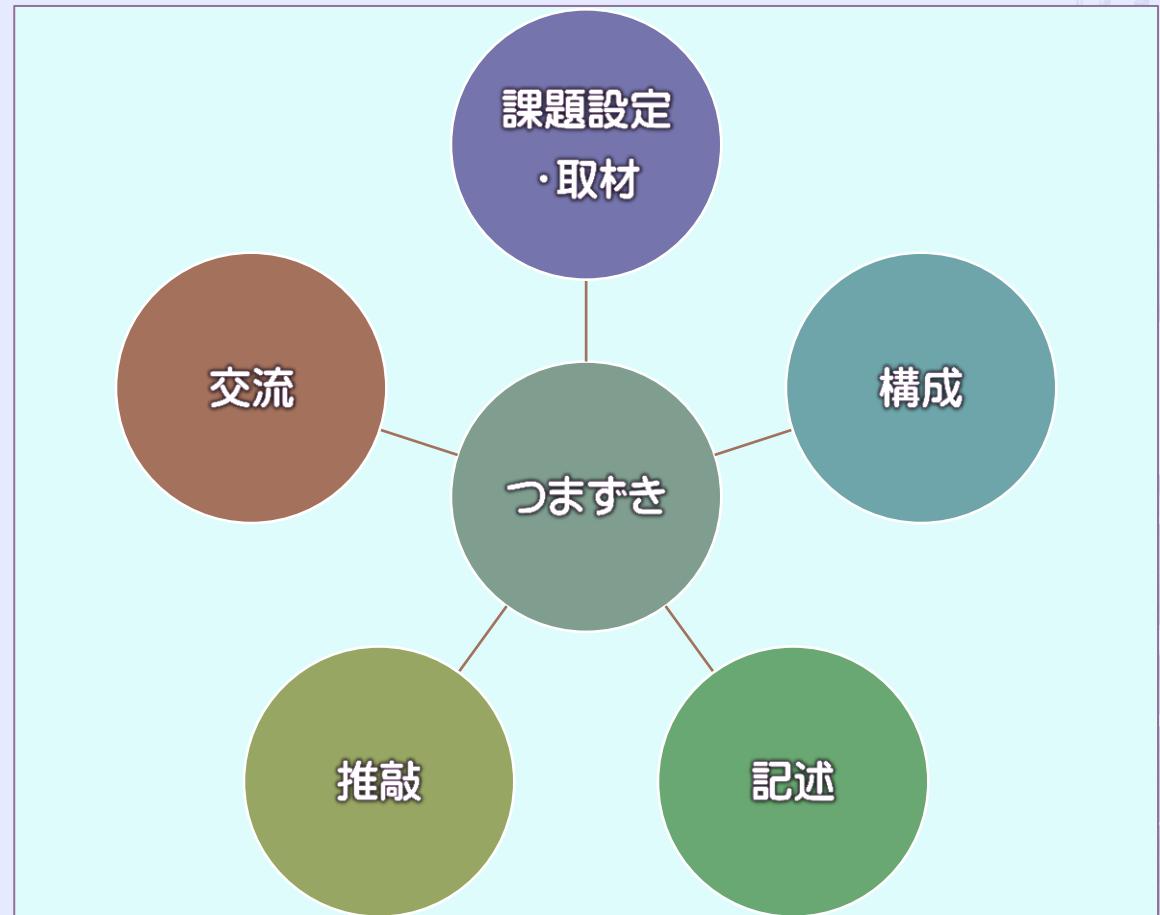
学年	単元の構成
1 年	<p>〔説明〕 わかりやすく説明しよう 「観点を立てて書く」</p> <p>〔報告〕 調べたことを報告しよう 「レポートにまとめる」</p> <p>〔鑑賞〕 根拠を明確にして魅力を伝えよう 「鑑賞文を書く」</p> <p>〔説明・創作〕 印象深く思いを伝えよう 「新入生へのメッセージを書く」</p> <p>〔説明〕 一年間の学びを振り返ろう 「ポスターセッションをする」</p>
2 年	<p>〔紹介〕 多様な方法で情報を集めよう 「職業ガイドを作る」</p> <p>〔手紙〕 気持ちを込めて書こう 「手紙を書く」</p> <p>〔意見〕 根拠を明確にして意見を書こう 「意見文を書く」</p> <p>〔創作・物語〕 表現のしかたを工夫して書こう 「『ある日の自分』の物語を書く」</p> <p>〔報告〕 一年間の学びを振り返ろう 「国語学習の報告書をまとめる」</p>
3 年	<p>〔編集〕 魅力的な紙面を作ろう 「修学旅行記を編集する」</p> <p>〔批評〕 説得力のある文章を書こう 「批評文を書く」</p> <p>〔説明・意見〕 三年間の歩みを振り返ろう 「学びについて語り合う」</p>

書くことの指導(つまずきをとらえる)

「認知・技能・情意」の3要素から



「指導事項」の5観点から



書くことの指導

「認知・技能・情意」の3要素からみる「書くことのつまずき」

(※ 以下の三要素は「書くこと」だけでなく「話すこと」など表現全般に当てはまる。)

(1) 情意面につまずきがある。

- ① 題材に興味を持っているか。
- ② 成功体験(上手に書けた等)を積んでいるか。
- ③ 相手意識や目的意識があるか。

(2) 認知面につまずきがある。

- ① 書く内容があるか。(書く材料を持っているか。)
- ② 書く内容を絞っているか。(最も楽しかったことなど)

(3) 技能面につまずきがある。

- ① 書き出しを考えて書くことができるか。
- ② つなぎの言葉を使って書くことができるか。「まず」「次に」「それから」「最後に」等)
- ③ 書く順序を考えて書くことができるか。
- ④ 全体の構成を考えて書くことができるか。
- ⑤ 表現の効果を意識して書くことができるか。

読むことの指導

文学的文章に関する指導1

○ 指導事項の系統性の明確化 [中学校]

	語句の意味の理解	文章の解釈	自分の考えの形成・交流	読書と情報活用
1学年	文脈の中の語句の意味を的確にとらえ理解する	中心的・付加的な部分や事実と意見の読み分け 要約、要旨 場面の展開、心情の描写理解	構成や展開、表現の特徴 ものの見方、考え方を広げる	必要な情報収集 情報の読み取り
	↓	↓	↓	↓
2学年	抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句に注意して読む	全体と部分の関係 例示や描写の効果 登場人物の言動の意味	構成や展開、表現の仕方 明確な根拠 知識多体験と関連付ける	多様な方法で選択 適切な情報 考えをまとめる
	↓	↓	↓	↓
3学年	文脈の中の語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む	論理の展開の仕方 場面や登場人物の設定の仕方	文章の読み比べ 展開、表現の仕方の評価 人間、社会、自然についての意見	目的に応じた読み 知識を広げる 考えを深める

読むことの指導

文学的文章に関する指導2

○ 教材や言語活動の系統性の明確化

※ 平成28年度版 光村図書より

学年	物語・小説・随筆	詩・短歌・俳句	言語活動
中学 1年	物語: ・花曇りの向こう ・光る地平線 ・星の花が降るころに ・大人になれなかつた弟たちに…… 小説: ・少年の日の思い出	詩 : ・野原はうたう ・詩の世界 ・ぼくが ここに 近代詩: ・竹	○音読、朗読 ○心情表現、行動 描写、情景描写 ○場面展開 ○見方、考え方を広げる
中学 2年	物語: ・世界で一番の贈り物 小説: ・アイスプラネット ・盆土産 ・走れメロス 随筆: ・言葉の力 ・字のない葉書	詩 : ・見えないだけ ・鍵 近代詩: ・落葉松 短歌: ・新しい短歌の ために(解説) ・短歌を味わう	○朗読 ○言動、心情表現 ○人柄、心情の読み ○筆者の思い ○人物像の変化 ○見方、考え方を深める
中学 3年	小説: ・握手 ・高瀬舟 ・故郷	詩 : ・春に ・挨拶 ・わたしを束ねないで 近代詩: ・初恋 俳句: ・俳句の可能性 (解説) ・俳句を味わう	○文脈の中での語句の 効果 ○表現上の工夫 ○表現の評価 ○人間と社会とのかか わり

読むことの指導

文学的文章に関する指導3

- 基本設定に目を付けて内容の大筋をつかむ。

【物語の5つの基本設定】

- ① 人物の設定(登場人物, 中心人物, 対人物など)
- ② 時の設定(年, 月, 季節, 時間など)
- ③ 場の設定(場所, 場面など)
- ④ 事件(主な出来事)
- ⑤ 結末



「視点人物」…小説では、一人の人物の立場から物事が描かれることが多い。
この人物を「視点人物」という。

(例) 「走れメロス」…視点人物＝メロス
ディオニオスやセリヌンティウスに視点を変えて読む。

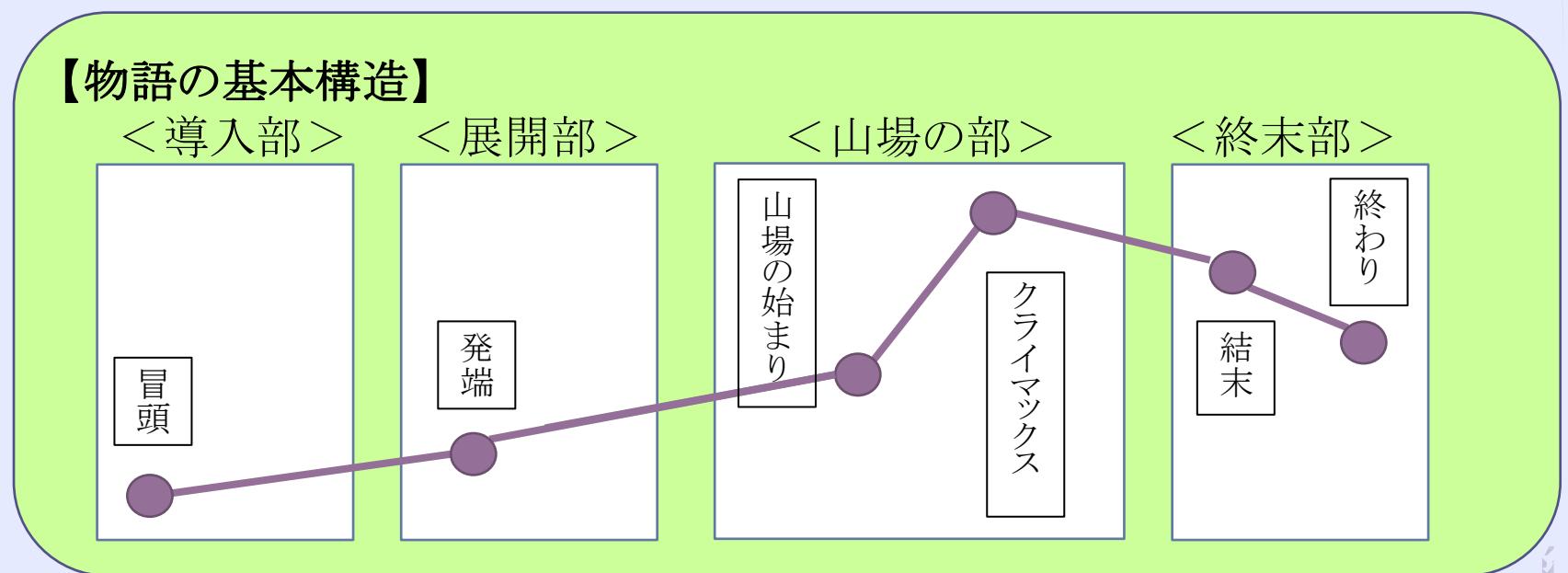
「人物相関図」…主人公を中心に登場人物がどのような関係になっているか図にまとめる。物語全体を高いところから眺めるように把握できる。

読むことの指導

文学的文章に関する指導4

- 作品の全体構造と関連付けて場面の移り変わりや人物の変容をとらえる。
- 物語の転換点に気を付けて読むことで、物語の展開の巧みさとその効果を理解できる。

【物語の基本構造】



場面や人物の
設定

事件(出来事)
登場人物の行動の変化

人物の心の変容・成長
喜劇 ⇔ 悲劇

文学的文章に関する指導5

○ 表現の工夫(描写)を読む。

【表現の工夫】

① 表現技法

(比喩・倒置・体言止め・情景描写・オノマトペ(擬音擬態語)・会話文など)

② 対比(対になるもの、場面と場面の対比等), 類比

③ 視点(語り手, 一人称視点, 三人称視点)

◆情景描写…登場人物や語り手の気持ちをそれとなく映し出している風景

(例)「そのうえ、故郷へ近づくにつれて、空模様は怪しくなり、冷たい風がヒューヒュー音を立てて、船の中まで吹き込んできた。」〔故郷〕

◆比喩…別の物にたとえて表現することで、読み手の想像力を刺激して効果的に伝えることができる。

(例)「道行く人を押しのけ、はね飛ばし、メロスは黒い風のように走った。」〔走れメロス〕

◆オノマトペ…擬声語(擬音語)、擬態語をまとめて表す言葉。読み手の感覚に訴えかけるはたらきがある。

(例)「揚げたてのえびフライは、口の中に入れると、しゃおっ、というような音を立てた。〔盆土産〕

読むことの指導

文学的文章に関する指導5

- 目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり考えを深めたりする。
- 自分の読書生活を振り返り、本の選び方や読み方について考える。

【文学的文章に関する指導で目指す姿】

- ① 作品と対話し、作品のよさやおもしろさ(読書の楽しさ等)を表現できる。
- ② さまざまな種類の文学に興味を持ち、読書の幅を広げることができる。

※ 平成28年度版 光村図書より

1年……私が選んだこの一冊 「読書紹介をしよう」

- 本の基本的な情報、本の内容や魅力が伝わるような情報を紹介する。
 - ・ポップを使って紹介する。
 - ・紹介箱を使って紹介する。
 - ・スピーチで紹介する

2年……二年一組のお薦め三十五冊 「読書案内を作ろう」

- 本に関する情報を多様な方法で集め、推薦する理由が伝わるように表現や構成を工夫して読書案内を作る。

3年……未来の私にお薦めの本 「読書生活をデザインしよう」

- 読書傾向を分析し、本お読み広げ方について考え、今後の読書生活をデザインする。

読むことの指導

説明的文章に関する指導1

○ 教材と言語活動の系統性の明確化

※ 平成28年度版 光村図書より

学年	教材（説明・記録・評論・論説）	言語活動
中学 1年	説明:・ダイコンは大きな根? ・ちょっと立ち止まって 隨筆 ・空を見上げて 記録:・シカの「落ち穂拾い」 説明:・幻の魚は生きていた ノンフィクション:桜守三代	○段落の役割・筆者の説明の工夫 ○段落の関係・文章の構成 ○言葉について考えを深める ○筆者の述べ方、図表の役割 ○文章の要旨、ものの考え方 ○人物の生き方・考えを深める
中学 2年	説明:・生物が記録する科学 論説:・モアイは語る 評論:・君は「最後の晩餐」を知っているか ノンフィクション:小さな町のラジオ発 論説:科学はあなたの中にある	○文章の構成・事実と考え ○文章の構成・論の展開・主張 ○語句や表現の工夫 ○筆者の考え・自分の考え ○事例と主張の関係
中学 3年	説明:・月の起源を探る 論説:「批評」の言葉をためる 論説:新聞の社説を比較して読もう 論説:作られた「物語」を超えて ノンフィクション:エルサルバドルの少女 ヘースス 論説:誰かの代わりに	○説明の順序・図の使い方 ○筆者の考え・自分の考え ○論説の読み比べ・評価 ○語句・論理の展開 ○人間の生き方・考え方 ○筆者の見方・生き方を考える

説明的文章に関する指導2

- 文章全体と部分との関係を考えて要約したり要旨をとらえる。
- 文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容を理解して自分の意見をもつ。

【説明文の読みのための目のつけどころ5つ】

① 説明的な文章の種類

- 事実や事柄を正確に伝える文章(説明文・記録文・報告文など)
- 根拠に基づき意見や主張を伝える文章(意見文・評論・批評文など)

② 題名 (取りあげる対象や筆者の意見・主張の言葉などが多い。)

③ 構成 (序論・本論・結論)

- 「問い合わせ」を意識して読む。「問い合わせ」が書いていない説明文もある。その場合は「語りかけの文」を「問い合わせ」の文に書き換える。

④ 要約と要旨

- 要約…目的に応じて、文章の大重要な部分(要点)を短くまとめる。
- 要旨…書き手が文章全体の中で述べている内容の中心となるもの。

⑤ 論理の展開

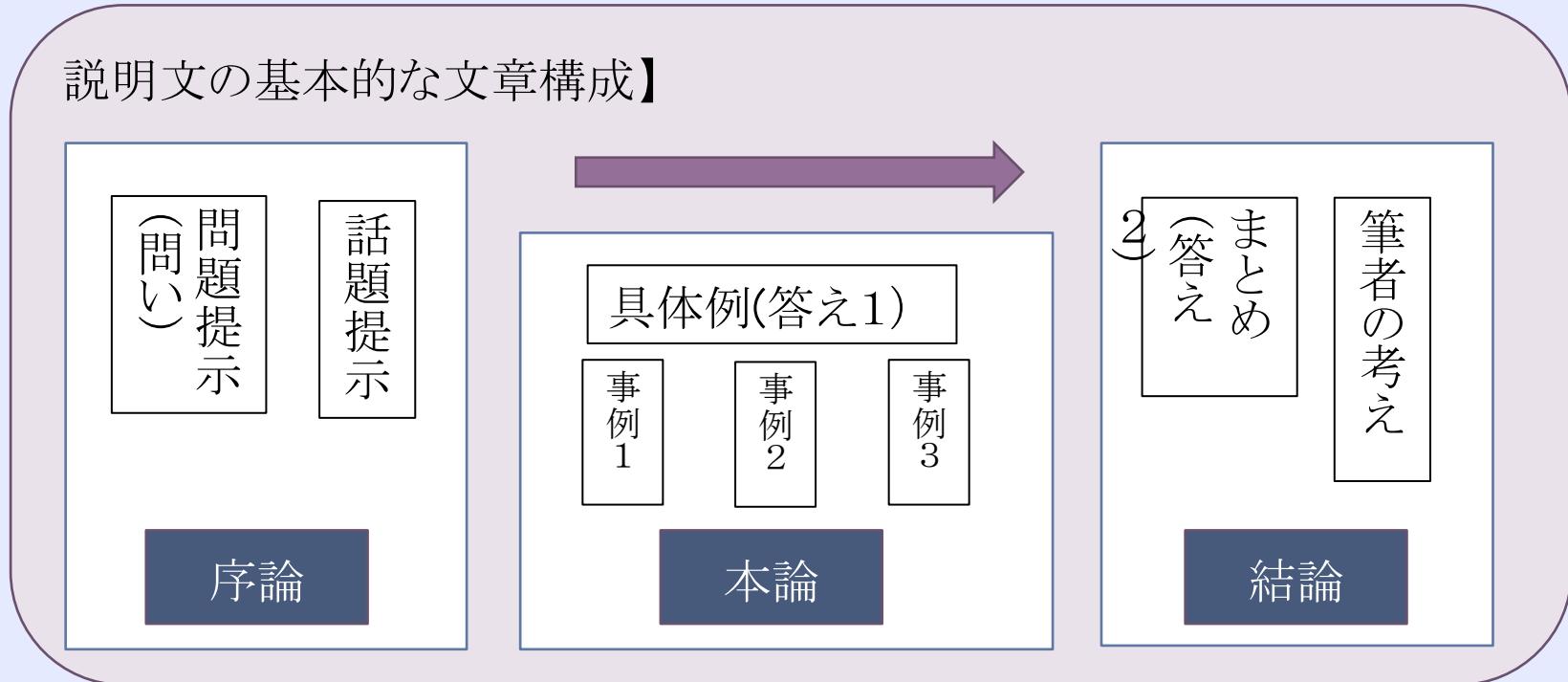
- 帰納的な論理の展開…具体的な事例→まとめて説明
- 演繹的な論理の展開…一般的な性質や考え→個々の具体的な事例

読むことの指導

説明的文章に関する指導3

- 文章構成や説明の工夫をとらえ、論理を読む。

説明文の基本的な文章構成】



- 問題提起 → 説明 → 結論 (尾括型・おしり型)
- 結論 → 説明 → 説明 (頭括型・頭型)
- 結論 → 説明 → 結論 (双括型・サンドイッチ型)

読むことの指導

説明的文章に関する指導4

○ 筆者の主張を明確にして読む。

筆者の主張を明確にするポイント

- ① 意見と事実の区別
- ② 具体(たとえば・・・)と抽象(つまり・・・)の区別
- ③ 要旨をまとめる。(要約する。)

【意見と事実を区別する】

- 次の2つの文章で事実が書いてあるのは、A、Bどちらの文章ですか。
 - A : ジョージ・ワシントンは、アメリカ合衆国の初代大統領である。
 - B : ジョージ・ワシントンは、アメリカ合衆国歴史上最も偉大な大統領である。
- ◆ 意見(主張)・・・筆者が文章全体を通して伝えようとする中心的な考え方。
 - 事実とは区別して「・・・だろう」「・・・と考える」などの文末表現で表されることが多い。
- ◆ 事実・・・実際の出来事や調査結果、事物の特徴などが書かれた部分
 - 調査結果などはグラフや図を使って表されることが多い。
- ※ 意見に説得力をもたらせるために、複数の事実を並べたり、二つ以上の事実を対比しながら説明することが多い。

読むことの指導

説明的文章に関する指導5

- 筆者の主張に対して、自分なりの考えを明確にして読む。

自分の考えを明確にするポイント

- ① 自分の体験や知識と結びつけて考える。
- ② 同じテーマ(違うメディア)の文章と比較して読む。
- ③ 表現の妥当性や適切さを判断する。(クリティカル・リーディング)

○ 書くことの重視 (理解と表現の一体化)

「よくわからない」「おかしい」



「どうすればわかりやすいか」
「どのようにすれば適切か」

○ 集団思考の場の提供

個 (意見・疑問・つまずき等)



集団 (比較・対立・共感等)

○ 比較して読む

◇立場や主張の違い

- ・問題に対し肯定的か否定的か

◇事実や事例の取りあげ方の違い

- ・どのような事例、事例のどちら方は？

◇論理の展開のしかたの違い

- ・具体と結論の順序性

◇表現や述べ方(文体)の違い

- ・断定的・婉曲的な表現

- ・語句の選び方、文末表現

読むことの指導

鑑賞・批評に関する指導

鑑 賞

鑑賞の観点を決める

観点の例
・印象 ・構図
・色彩 ・感覚 等

観点に沿って整理する

観点ごとにメモに書き出し、整理して構成を決める。

鑑賞文を書く

メモをもとに作品の魅力や自分の考えが伝わるように書く。

批 評

観点を決めて分析する

語句や描写の意味・効果、主題、構成

読み比べたり調べたりして理解を深める

同じ作者の別の作品
同じテーマの別の作者の作品 等の比較

評価・分析をする

比較して分かったこと、考えたことを関連づけまとめる。